

令和5年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,071	4,945	△ 126	(注1)
施設整備費補助金	497	444	△ 54	(注2)
補助金等収入	142	351	209	(注3)
自己収入	2,358	2,329	△ 29	
授業料、入学金及び検定料収入	2,270	2,187	△ 83	(注4)
雑収入	87	141	54	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	674	1,280	606	(注6)
引当金取崩	-	-	-	(注7)
目的積立金取崩	282	425	143	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	(注9)
計	9,023	9,773	750	
支出				
業務費	7,710	7,133	△ 578	(注10)
教育研究経費	7,710	7,133	△ 578	
施設整備費	497	444	△ 54	(注11)
補助金等	142	323	181	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	674	1,121	447	(注13)
計	9,023	9,020	△ 3	
収入-支出	-	753	753	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、次年度への繰越額が発生したことに伴い、予算額に比して決算額が126百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部について交付決定金額よりも執行金額が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が54百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画時では予定していなかった補助金の獲得に伴い、予算額に比して決算額が209百万円多額となっています。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が96百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として授業料免除の実施に伴い、予算額に比して決算額が83百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付の収入金額が予定より増加したことに伴い、予算額に比して決算額54百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が606百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初計画の変更により、予算額に比して決算額が143百万円多額となっています。
- (注9) 引当特定資産取崩については、該当ありません。
- (注10) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が578百万円少額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が54百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が181百万円多額となっています。
- (注13) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が447百万円多額となっています。